令和6年度（2024年度）モニタリングシート

施設名	横川 学童保育所

視点		評価項目		6月 所管課評価	6月 所管課コメント	6月 指定管理者自己評価(コメント)	9月 所管課評価	9月 所管課コメント	9月 指定管理者自己評価(コメント)	12月 所管課評価	12月 所管課コメント	12月 指定管理者自己評価(コメント)	所管課期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	定量的	職員配置（常勤数、非常勤数、加配数）・放課後児童支援員	出席児童数に見合った職員配置であるか。また、放課後児童支援員は事業計画どおり配置されているか 【日報】	B	配置職員及び放課後児童支援員は適正に配置されている。	B 在籍児童数に見合った職員を配置し、支援員は計画通りに配置	B		B 在籍児童数に見合った職員を配置し、支援員は計画通りに配置	B		B 在籍児童数に見合った職員を配置し、支援員は計画通りに配置	B		B 在籍児童数に見合った職員を配置し、支援員は計画通りに配置
		月報（学童保育状況報告書）・日報（育成日誌兼業務記録）を作成しているか		B	日報・月報は適正に作成されている。特記事項には、行事や活動内容が詳細に記載されている。	B 日々作成し、複数で確認	B		B 日々作成し、複数で確認	B		B 日々作成し、複数で確認	B		B 日々作成し、複数で確認
	定性的	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設し、資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか 【銀行口座の通帳の有無・独立した会計帳簿】	B	適正かつ明確化が図られている。	A 固有の開設口座があり、独立した会計帳簿にて管理（施設で出納帳を作成し、領収書ファイルと共に本部に提出。本部で月ごとに点検後、会計帳簿に打ち込み管理）	B		A 固有の開設口座があり、独立した会計帳簿にて管理（施設で出納帳を作成し、領収書ファイルと共に本部に提出。本部で月ごとに点検後、会計帳簿に打ち込み管理）	B		A 固有の開設口座があり、独立した会計帳簿にて管理（施設で出納帳を作成し、領収書ファイルと共に本部に提出。本部で月ごとに点検後、会計帳簿に打ち込み管理）	B		A 固有の開設口座があり、独立した会計帳簿にて管理（施設で出納帳を作成し、領収書ファイルと共に本部に提出。本部で月ごとに点検後、会計帳簿に打ち込み管理）
			延長利用料金の徴収は適正に行われているか 【独立した会計帳簿・日報、月報・銀行口座・領収書綴】	B	適正に徴収されている。	A 適正に実施 施設は本部に提出、本部が口座に入金 領収証他は施設で保管	B		A 適正に実施 施設は本部に提出、本部が口座に入金 領収証他は施設で保管	B		A 適正に実施 施設は本部に提出、本部が口座に入金 領収証他は施設で保管	B		A 適正に実施 施設は本部に提出、本部が口座に入金 領収証他は施設で保管
		収支計画が適正であること	給与の支出及び収支計画が適正に執行されているか 【給与規程・賃金台帳・事業計画書（収支計画）・事業報告書】	B	適正に執行されている。	A 適正に執行	B		A 適正に執行	B		A 適正に執行	B		A 適正に執行
		管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	児童発達、アレルギー対策等の研修や職員倫理をはじめとする資質向上を図るための人材育成研修が行われているか 【研修件名・内容】	B	所長、主任クラス別といった法人独自の研修や、虐待防止研修等を計画的に実施。受講後は施設内職員間でフィードバックしている。	B 指導員と個々の面談を実施。現状に合わせて指導育成。虐待防止研修会（関連法令及び当法人の虐待ガイドラインを基に話し合う）	B		B 指導員との会話を重ね、現状に合わせて指導育成。	B		B 指導員との会話を重ね、現状に合わせて指導育成。	B		B 指導員との会話を重ね、現状に合わせて指導育成。 アレルギー反応に対応するためにエピペンに関する情報交換を行った
			保育の継続性を確保するため、年度途中の人事異動を避け、職員を安定・継続的に配置しているか 【事業計画書・日報・ヒアリング等】	B	安定かつ継続的な職員配置がなされている。	B 安定的かつ継続的に配置	B		B 安定的かつ継続的に配置	B		B 安定的かつ継続的に配置	B		B 安定的かつ継続的に配置
		施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	事業者の経営状況が健全な状態であるか 【確認資料例：財務諸表・財務評価表】	B	適正である。	B 健全である	B		B 健全である	B		B 健全である	B		B 健全である
			業務の一括委託が行われていないか 【第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿】	B	協定書で定める範囲内で、非常通報装置保守点検・定期清掃が行われている。	B 産業廃棄物処理を委託した	B		委託はなし	B		委託はなし	B		委託はなし
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	定量的	入退所等関係書類が遅滞なく処理されているか		B	適切に処理されている。	B 遅滞なく適正に処理	B		B 遅滞なく適正に処理	B		B 遅滞なく適正に処理	B		B 遅滞なく適正に処理
	定性的	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	開所日数、開所時間は守られていたか 【日報、月報・事業報告書】	B	開所日数、開所時間は適切に守られている。	A 確実に対応、遵守	B		A 確実に対応、遵守	B		A 確実に対応、遵守	B		A 確実に対応、遵守
		施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	文書の管理・保存が適切に行われているか 【ファイル基準表（なければそれに準ずるもの）・実地調査】	B	ファイル基準表に則り適切に管理・保存がされている。	A ファイル基準表に沿って、適切に保存・管理実施	B		A ファイル基準表に沿って、適切に保存・管理実施	B		A ファイル基準表に沿って、適切に保存・管理実施	B		A ファイル基準表に沿って、適切に保存・管理実施
			設備・機器類の安全確認や定期的なメンテナンス、施設の修繕、清掃、整理整頓が行われているか 【事業報告書・実地調査】	A	日常清掃や、保守点検による設備等の維持管理は適切に行われている。また、保育面積を確保するため、日常の整理・整頓に併せて計画的に不用品の廃棄を実施して安全な保育環境を生み出している。	B 学校と連携を取り、協力を仰ぎながら施設保全を実施 6月に年1回の空調機のメンテナンス実施	A	日常清掃や、保守点検による設備等の維持管理は適切に行われている。また、保育面積を確保するため、日常の整理・整頓に併せて計画的な不用品整理を実施して、安全な保育環境を生み出している。	B 学校と連携を取り、協力を仰ぎながら施設保全を実施	B	日常清掃や、保守点検による設備等の維持管理は適切に行われている。	B 学校と連携を取り、協力を仰ぎながら施設保全を実施	A	日常清掃や、保守点検による設備等の維持管理は適切に行われている。また、保育面積を確保するため、日常の整理整頓に併せて不用品整理を計画的に実施することで、児童の安全な保育環境の整備に努められている点を評価した。	A 学校と連携を取り、協力を仰ぎながら施設保全を実施 多目的室のエアコンの修繕を実施
			備品の管理が適切に行われているか 【備品台帳・実地調査】	B	適切に管理されている。	B 適切に実施（備品台帳記載）	B		B 適切に実施（備品台帳記載）	B		B 適切に実施（備品台帳記載）	B		B 適切に実施（備品台帳記載）
施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか	定量的	利用者の満足度3.0 【利用者満足度調査】											A	利用者の満足度は3．0以上である。	A
	定性的	放課後子ども教室運営団体と情報共有が図られ、放課後子ども教室への参加について柔軟に対応されているか		A	児童の情報共有や活動ルール、安全対策等を双方で連携、協力して行っており、放課後子ども教室実施日には積極的に参加している。 法人が放課後子ども教室を運営している利点を活かし、学童保育所指導員と放課後子ども教室安全管理員の連携が図られている。また、多数の共通の体験プログラムを通して相互の交流を深めている。学童保育所卒所後も継続した児童の見守りによって、児童・指導員・保護者間の信頼関係の構築につながっていることを評価する。	A 当法人運営の放課後子ども教室であり、「都型一体型学童クラブモデル事業の対象学童」として連携しつつ実施、毎日参加 放課後子ども教室との合同行事も計画している	A	児童の情報共有や活動ルール、安全対策等を双方で連携、協力して行っており、放課後子ども教室実施日には積極的に参加している。 法人が放課後子ども教室を運営している利点を活かし、学童保育所指導員と放課後子ども教室安全管理員の連携が図られている。また、夏の水遊びなどの共通のプログラムを通して相互の交流を深めている。学童保育所卒所後も継続した児童の見守りによって、児童・指導員・保護者間の信頼関係の構築につながっている。	A 当法人運営の放課後子ども教室であり、「都型一体型学童クラブモデル事業の対象学童」として連携しつつ実施、毎日参加。 放課後子ども教室と夏の水遊びも実施	A	児童の情報共有や活動ルール、安全対策等を双方で連携、協力して行っており、放課後子ども教室実施日には積極的に参加している。 法人が放課後子ども教室を運営している利点を活かし、学童保育所指導員と放課後子ども教室安全管理員の連携が図られている。また、共通のプログラムを通して相互の交流を深めている。学童保育所卒所後も継続した児童の見守りによって、児童・指導員・保護者間の信頼関係の構築につながっている。	A 当法人運営の放課後子ども教室であり、「都型一体型学童クラブモデル事業の対象学童」として連携しつつ実施、毎日参加。	A	児童の情報共有や活動ルール、安全対策等を双方で連携、協力して行っており、放課後子ども教室実施日には積極的に参加している。 法人が放課後子ども教室を運営している利点を活かし、学童保育所指導員と放課後子ども教室安全管理員の連携が図られている。また、共通のプログラムを通して相互のコミュニケーションを図りつつ、学童保育所卒所後も継続した児童の見守りによって、児童・指導員・保護者間の信頼関係の構築につながっている点を評価した。	A 当法人運営の放課後子ども教室であり、「都型一体型学童クラブモデル事業の対象学童」として連携しつつ実施、毎日参加。
		利用者からの苦情処理の体制がとれていること	苦情解決の体制（解決責任者の設置・受付担当者の設置）を整備し、利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか 【マニュアル・相談、苦情をまとめた整理帳簿】	B	苦情対応の体制を整えるとともに苦情処理のノート等を作成し、職員間での情報共有など適切な対応がされている。	B 日々のお迎え時などに、保護者からの相談に親身に対応 苦情などはその日に対応、処理を厳守 整理帳に記し必要なことは職員間でしっかり共有	B		B 日々のお迎え時などに、保護者からの相談に親身に対応 苦情などはその日に対応、処理を厳守 整理帳に記し必要なことは職員間でしっかり共有	B		B 日々のお迎え時などに、保護者からの相談に親身に対応 苦情などはその日に対応、処理を厳守 整理帳に記し必要なことは職員間でしっかり共有	B		B 日々のお迎え時などに、保護者からの相談に親身に対応 苦情などはその日に対応、処理を厳守 整理帳に記し必要なことは職員間でしっかり共有
		利用者への周知・理解及び支援を深める取り組みを進めているか	保護者（会）とのコミュニケーション及び支援を深める取り組みが適切に行われているか 【おたより、連絡帳】	B	保護者会、個人面談、おたより、メール等にて適正に取り組みがなされている。	B 指導員が必ず保護者と対話し更にお便り・メール・電話を使い取り組んでいる。コミュニケーションを保ち理解と協力を得ている。	B		B 指導員が必ず保護者と対話し更にお便り・メール・電話を使い取り組んでいる。コミュニケーションを保ち理解と協力を得ている。	B		B 指導員が必ず保護者と対話し更にお便り・メール・電話を使い取り組んでいる。コミュニケーションを保ち理解と協力を得ている。	B		B 指導員が必ず保護者と対話し更にお便り・メール・電話を使い取り組んでいる。コミュニケーションを保ち理解と協力を得ている。
		学童保育所と地域の交流を広げる取組がなされているか	学校、地域等の関係機関と連携し、特色ある行事を計画的に実施することで、保育活動の拡充・拡大を図っているか 【事業計画書・事業報告書・行事計画書・ヒアリング等】	A	学校や児童相談所・子ども家庭支援センター等の関係機関と情報共有をはじめ、地域青少年関係団体に所属し、会議出席や地域清掃活動等にも参加している。地域団体との協力関係を構築することで、保育活動の拡大・拡充に繋げている。	B 青少対主催のクリーンデー活動に参加	A	学校や児童相談所・子ども家庭支援センター等の関係機関と情報共有をはじめ、地域青少年関係団体に所属し、会議出席や情報交換・共有が行われている。地域行事には積極的に参加する姿勢が見られ、地域団体との協力関係を構築することで、保育活動の拡大・拡充に繋げている。	B	B	学校や児童相談所・子ども家庭支援センター等の関係機関と情報共有をはじめ、地域青少年関係団体に所属し、会議出席や情報交換・共有が行われている。	B	A	学校や児童相談所、子ども家庭支援センターなどの関係機関と情報共有を行っているほか、地域の青少年関係団体にも所属し、会議への出席や情報交換・共有を積極的に行っている。また、地域行事に積極的に参加し、地域団体との協力関係のもと、保育活動の拡充・拡大に取り組んでいる点を評価した。	B
施設の効率的な管理、運営が行われ、経費の節減が図られているか	定性的	資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	「八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム（H－EMS：ヒームス）」に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか 【ヒアリング等】	B	節電・節水、紙のリサイクル、おやつの空き箱の工作利用など環境に配慮した取組みがなされている。	B 市のプランに基づき支援員が意識をもって管理・運営し、子どもたちへ指導	B		B 市のプランに基づき支援員が意識をもって管理・運営し、子どもたちへ指導	B		B 市のプランに基づき支援員が意識をもって管理・運営し、子どもたちへ指導	B		B 市のプランに基づき支援員が意識をもって管理・運営し、子どもたちへ指導
事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか	定量的	年間行事が事業計画どおり実施されているか 【行事計画書、行事参加者名簿】		B	計画どおり実施されている。	B 計画的に実施	B		B 計画的に実施	B		B 計画的に実施	B		B 計画的に実施
		防災訓練等（地震、火災、不審者、交通ルール等）は事業計画どおり実施されているか		B	地震・火災を想定した避難訓練や防災安全訓練を計画的に実施している。	B 月1回の訓練実施のほか、日常の生活の中でニュースなどを取り上げて話をするなど指導	B		B 月1回の訓練実施のほか、日常の生活の中でニュースなどを取り上げて話をするなど指導	B		B 月1回の訓練実施のほか、日常の生活の中でニュースなどを取り上げて話をするなど指導	B		B 月1回の訓練実施のほか、日常の生活の中でニュースなどを取り上げて話をするなど指導
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	定性的	個人情報の取り扱いが適切であること	個人情報の保管等適切な管理のための必要な措置が講じられているか 【保管庫の施錠、マニュアルの整備、情報セキュリティの順守】	B	個人情報の取り扱いに関するマニュアルを整備し、鍵付きの書庫にて保管するなど必要な措置が講じられている。	B 市からの順守文書を参考に支援員間で学びしっかり対応した　職員は個人情報誓約書を提出し順守に努めている	B		B 市からの順守文書を参考に支援員間で学びしっかり対応した　職員は個人情報誓約書を提出し順守に努めている	B		B 市からの順守文書を参考に支援員間で学びしっかり対応した　職員は個人情報誓約書を提出し順守に努めている	B		B 市からの順守文書を参考に支援員間で学びしっかり対応した　職員は個人情報誓約書を提出し順守に努めている
		緊急（防火・防犯等）対応等危機管理体制が取られていること	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか 【保険証券】										B	保険の加入は適切である。	B
			事故や災害発生時の緊急時における初動対応が迅速かつ適切に行われたか。また、適切に行えるよう責任、手順（マニュアル）等を明確にし、体制が整えられているか 【マニュアル・事業計画書（事業計画）・事故報告書】	B	事故・災害に備えて、迅速かつ適切な対処が出来るよう、マニュアル類や連絡体制を整えている。緊急連絡先や初動対応のフローも職員の見やすい場所に掲出するなどの適切な措置が取られている。また、マニュアル作成では、施設の設置形態に合わせて作成し運用している。	B マニュアルに沿って訓練や災害時対応を学び、特に支援員自身が対応を熟知、しっかり子どもを誘導できるよう危機感を持って準備	B		B マニュアルに沿って訓練や災害時対応を学び、特に支援員自身が対応を熟知、しっかり子どもを誘導できるよう危機感を持って準備	B		B マニュアルに沿って訓練や災害時対応を学び、特に支援員自身が対応を熟知、しっかり子どもを誘導できるよう危機感を持って準備	B		B マニュアルに沿って訓練や災害時対応を学び、特に支援員自身が対応を熟知、しっかり子どもを誘導できるよう危機感を持って準備
			事故報告等の収集した事例について、職員の参画のもと発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討実施する等の取組が行われているか 【マニュアル・事業計画書（事業計画）・事故報告書】	B	事故案件、事故事例等を基に発生原因の検証や、対応策について法人内や職員間で話し合っている。また事故を未然に防ぐため、ミーティング時にはマニュアルなどにも折に触れ、職員間で安全対策・再発防止に向けた意識啓発等、危機管理に関する意識が高い。	B 当施設での事例に限らず、様々な事例をもとに話し合い、確認し合い事故防止、再発防止に努めている	B		B 当施設での事例に限らず、様々な事例をもとに話し合い、確認し合い事故防止、再発防止に努めている	B		B 当施設での事例に限らず、様々な事例をもとに話し合い、確認し合い事故防止、再発防止に努めている	B		B 当施設での事例に限らず、様々な事例をもとに話し合い、確認し合い事故防止、再発防止に努めている

期末総合評価	B
所管課コメント	市との協定内容のとおり、事業運営及び施設の維持管理は適正に実施されており、良好である。 育成日誌等の帳票類は適切に管理・記載されており、会計処理も適切であり、問題はない。 学校や地域との関係は密接であり良好である。地域団体との協力関係のもと、焼き芋大会を開催し、地域行事にも積極的に参加して町会等近隣住民との交流も図っている。 本指定管理者は、放課後子ども教室を運営しており、共通の体験プログラムを通して相互の交流が図られるとともに、児童が学童保育所、放課後子ども教室を自由に参加し選択できるよう、児童の放課後の居場所の整備に努めている。 今後も、保護者、学校や地域と良好な関係を保ち、設置趣旨に沿った効率的・効果的かつ安定的な学童保育所運営を期待する。